



どこに危険が？何が不安全か？ ～ 小国支部 12月期の安全パトロールを実施しました ～

飯豊山系砂防事務所工事安全対策協議会小国支部（山形県小国町管内）は、平成24年12月18日（火）に12月期の安全パトロールを受発注者合わせて15人で実施しました。

小国支部では、毎月度に稼働現場の「安全パトロール」を実施しています。

各工事の受注者から現場担当者と店社安全管理者の参加により、各社培った安全管理の目でそれぞれの工事現場の安全を点検し、事務所会議室にて危険ポイントの報告とその是正確認、模範的な工夫事例の評価など、一堂に会して労働災害の防止に努めています。

また、安全管理技術の向上を目的とした勉強会では、「安全+第一」のあらましについて歴史的な側面から学習し、何よりも優先される「安全の意義」について確認しました。

◇ 対象工事現場

- ① 中ノ俣川砂防堰堤工事（内川護岸） 小国町大字小玉川地先
- ② 弥五沢砂防堰堤工事 " 伊佐領地先

◇ 安全パトロールでの主な確認内容

- ・ 注意／警戒／中止の河川水位の設定（土木工事安全施工技術指針／河川工事による）
- ・ 消火器の設置位置（利用し易い設置）
- ・ 油流出対策（緊急機材置場が遠い、吸着マットは機動的な場所に置く）

◇ 「安全+第一」について

具体的実施方法

- ・ ものの流れをスムーズにする。
- ・ 全ての機械に安全装置をつける。
- ・ 不安全な箇所は、細部まで安全処置を施す。
- ・ 安全標識は誰でも分かる標識を用いて設置する。
- ・ 作業所内は明るく、常に清潔感を保つ。



現場の安全点検状況

